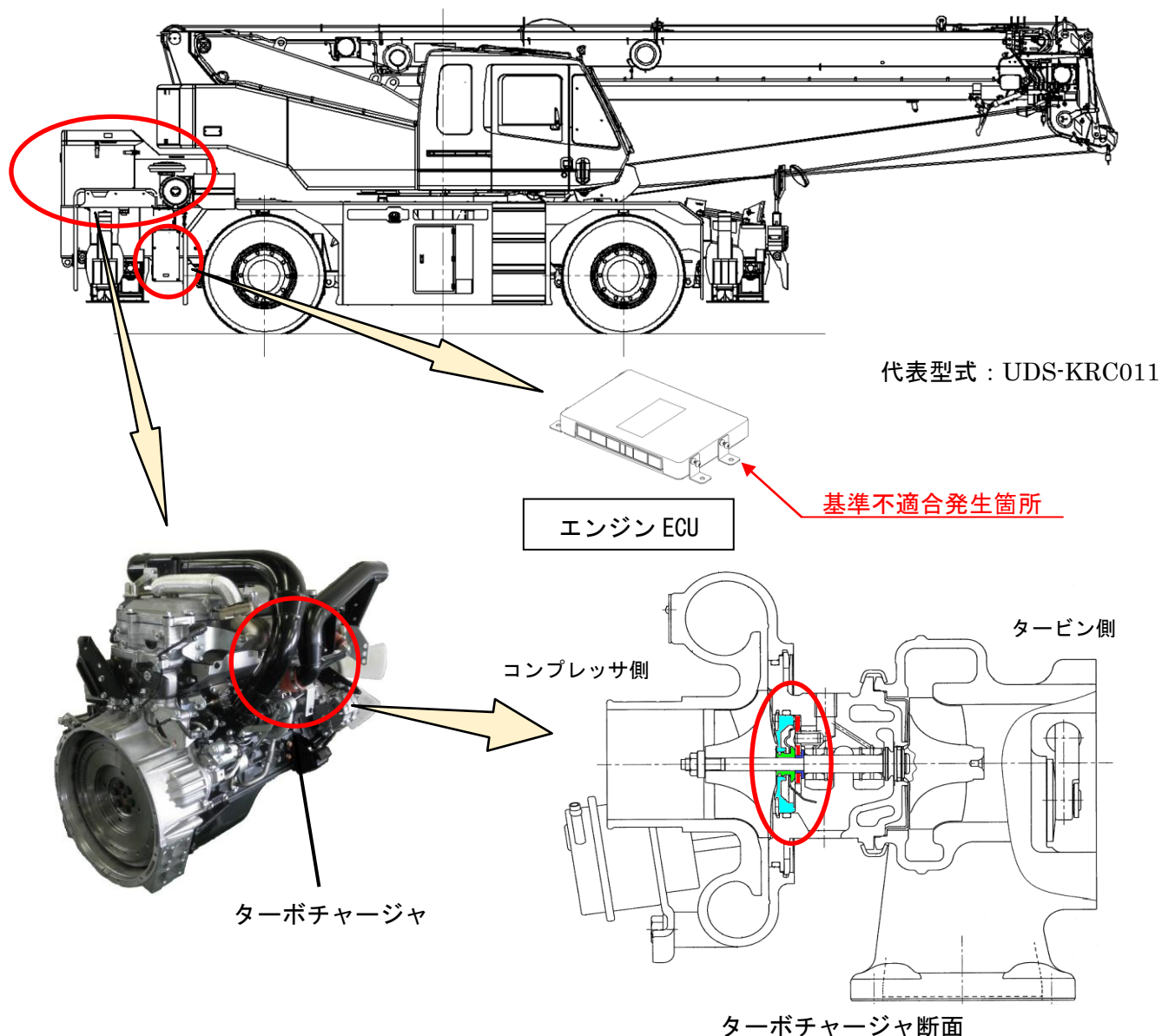


改善箇所説明図



ホイール・クレーンの原動機において、エンジン制御のプログラムの設定が不適切なため、繰り返しエンジン高回転・高負荷域から減速操作を行うと、ターボチャージャのスラストベアリングに高い負荷が発生しスラストベアリングおよびスラストリングに摩耗を生じることがある。そのため、ターボチャージャのシャフトにガタつきが生じ、そのままの状態で使用を続けると、ターボチャージャのシールリングが損傷してエンジンオイルが漏れ出し、当該オイルがエンジン内部、排気系に入り込み、白煙、異音、エンジン回転数の上昇等の不具合が発生し、最悪の場合、エンジンが破損するおそれがある。

改善措置の内容

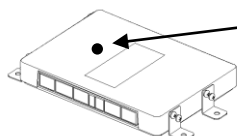
全車両、ECU のエンジン制御プログラムを対策プログラムに変更する、又は ECU を対策品と交換する。また、インタークーラ及びターボチャージャ内部にエンジンオイルの漏れが確認された場合は、エンジン、吸気系、排気系の装置を点検し、損傷部品の交換を行う。

注：□ は、交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、所定の位置に白色マーキングを施す。

マーキング位置

エンジン ECU



白色マーキング位置：
コントローラ上面（銘板横）